

アンリツ株式会社

2026年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明会 Q&Aサマリー

Q1:

通信計測事業のQ2の営業利益がQ1比で大幅に伸びているがどのような要因なのか？
また、今後の継続性はどうか？

A1:

Q1比でQ2の売上が伸びたことが主な要因です。Q2で受注も回復傾向であり、下期についても売上の向上による営業利益増を見込んでいます。

Q2:

光トランシーバーの需要に関して、関税の影響は残っているのか？
今後の需要動向の見込みはどうか？

A2:

米国関税政策の影響により、Q2は8月と9月の2か月分の需要を取り込むに留まりました。下期は堅調な市場の需要を取り込めるものと見込んでいます。

Q3:

エレクトロニクス・セグメントの業績が良いとのことだが、何が伸びているのか？
また、今後の継続性はどうか？

A3:

汎用計測器は様々な分野で使われており、特定の需要が生じているわけではないですが、半導体部品や公共無線、航空・宇宙では需要が伸びています。これらの分野での需要は今後も増加すると考えています。

Q4:

PQA事業において、米国や中国の需要動向は怎么样了のか？
米国の関税政策の影響は受けているのか？

A4:

米国の需要に関してQ1は関税政策の影響を受けましたが、Q2は通常状態に回復しています。中国に関しては関税政策の影響を受けていませんが、中国の景気動向の影響を受け、需要は停滞しています。

Q5:

成長投資としてM&Aを進めているようだが、どのような分野を検討しているのか？

A5:

PQA事業では医薬品分野など、通信計測事業では6G分野などを検討しています。